



～海外へ！オンラインで伝える北九州市の下水道技術～ 中国・大連市

作成：上下水道局海外事業課

発行日：令和2年12月2日



新型コロナウイルスの拡大により、国境をまたいだ往来が困難になる中で、世界中でオンライン会議の活用が進んでいます。「国際技術協力」として海外への職員派遣や海外からの研修生の受入を行っている上下水道局でも、海外との交流を続けるため、オンライン会議システムを導入しています。今回は**オンライン会議システムを活用した国際交流の一例**を紹介します。

11月18日に「**中国の大連市とのオンライン交流会**」が開催されました。

大連市とは、1979年の友好都市提携を結んで以来、これまで経済、環境、文化、青少年など様々な分野で交流を続け、最近では、相互に支援物資を寄贈するなど、良好な関係を築いています。

往来を伴う形での交流が難しい中、大連市及び本市大連事務所の発案・協力により、「**環境分野**」に関する**実務者レベルのオンライン交流会**が開催されることになりました。交流会の目的は、お互いのもつ環境に関する課題を共有し、双方の発展につなげていくことです。

その一環として「**下水処理**」に関する交流会が開かれました。本市の下水道部門の実務担当者から「**下水処理の取組み**」、「**下水道施設の管理とメンテナンス**」、「**事業場排水規制**」といった専門的な取り組みを紹介しました。

大連市の下水道普及率は9割を超えていますが、万全なインフラサービスを市民へ継続的に提供するためには、日常的な施設の点検やメンテナンスを欠かすことができず、担当職員の技術向上を図る必要があります。

大連市からは、「北九州市のもつ高度な技術と経験は中国にとって恩恵をもたらす。今後も友好的な協力関係を保っていきたい」と言及がありました。

これを契機にますます双方が都市インフラ事業の未来を考え、お互いに協力する契機になればと思います。

交流会の様子は、中国のSNS「WeChat(微信)」でも紹介されました。

<https://mp.weixin.qq.com/s/65IVgHqgC-EVtens5ZlYJg>

報告者：上下水道局 海外事業課
海外事業担当係長 北川 啓一



大連市人民政府外事弁公室副主任劉舫氏が出席



大連市とのオンライン会議の様子



北九州市から下水処理技術を発信

